

岡山県感染症週報

2011 年 第 21 週 (5 月 23 日～ 5 月 29 日)

◆2011 年 第 21 週 (5/23 ～ 5/29) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

1 類感染症 ～ 5 類感染症 なし

なお 追加報告として

18 週 結核 1 名 (10 代 男)

19 週 結核 1 名 (50 代 男)

20 週 結核 1 名 (20 代 女)、破傷風 1 名 (80 代 男) の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

○県内のインフルエンザの定点あたり患者報告数は、前週より減少しました (90 → 61 人 定点あたり 1.07 → 0.73 人)。ひきつづき、**インフルエンザ注意報発令中**です。

○咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、ヘルパンギーナなど、夏に流行する感染症の発生が増えました。

1. 県内の**インフルエンザ**の定点あたり患者報告数は、前週より減少しました (1.07 → 0.73 人)。全国でも減少しました (1.62 → 1.11 人)。岡山県ではひきつづき、インフルエンザ注意報発令中です。手洗い・うがいを心がけましょう。
2. **手足口病**の定点あたり患者報告数は、今週も増加しました (3.19 → 3.37 人)。
3. **咽頭結膜熱**の定点あたり患者報告数が増加しました (0.17 → 0.44 人)。
4. **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点あたり患者報告数が増加しました (0.70 → 1.11 人)。
手足口病、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、**今週の注目感染症** をご覧下さい。
5. **ヘルパンギーナ**の定点あたり患者報告数は、今週も増加しました (0.70 → 0.85 人)。
6. **流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)**の定点あたり患者報告数は前週と同様でした (1.22 → 1.20 人)。流行性耳下腺炎は3～4年の周期で患者の増加が見られます。今年も2002年、2006年以降の患者数の多い状態が続いています。幼児期にかかると、まれに難聴 (ムンプス難聴) になることもあります。今後の動向に注意してください。
7. 県内では今年初めてとなる**破傷風**の発生がありました。

今週の流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★★
手足口病		★★★★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎		★	無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少 ↘ 1.1～2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↗ 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★★多い ★★★★★★非常に多い

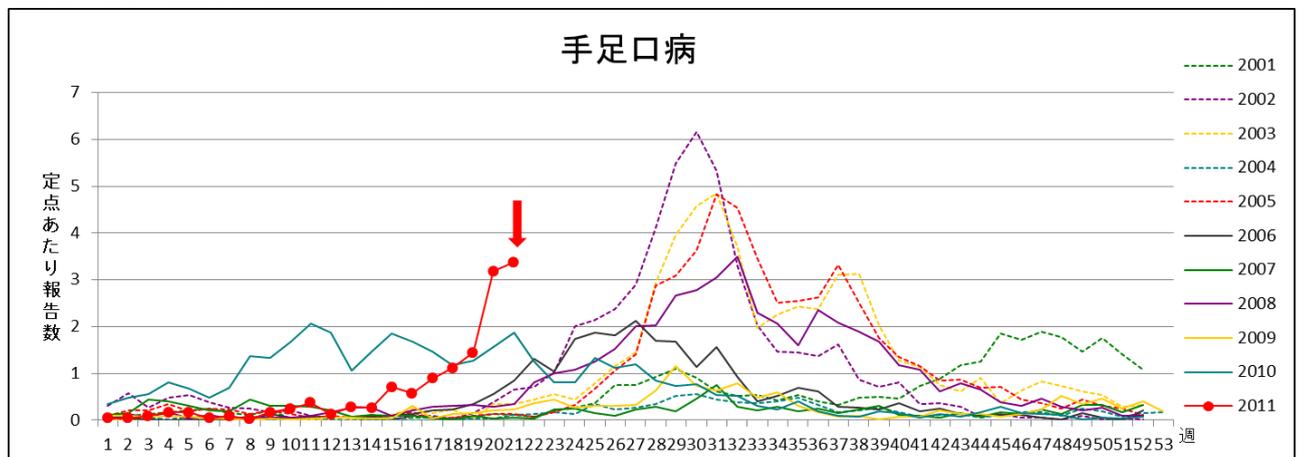
※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

今週の注目感染症

手足口病の定点あたり患者報告数は先週よりさらに増加しました（3.19 → 3.37人）。岡山県では、今年患者発生が過去10年に比べ早くなっています。

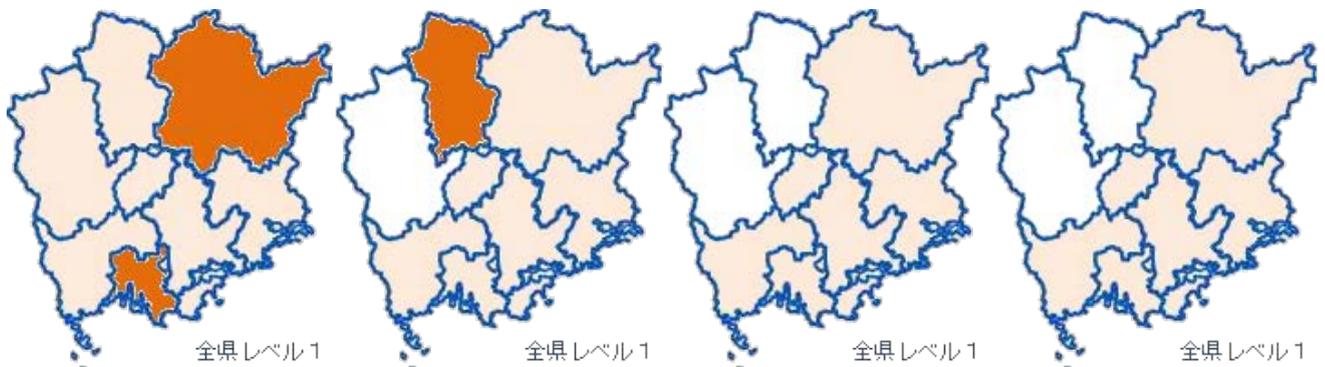
先週患者数が大幅に増加した岡山市（4.36 → 3.43人）、真庭地域（6.50 → 1.00人）では発生が減りましたが、倉敷市（4.64 → 5.55人）、美作地域（2.17 → 6.17人）では患者発生が大幅に増え、レベル3になりました。

手足口病は、夏に幼児を中心に流行する感染症です。県内でも1歳、2歳、3歳の順に発生が多く、3歳以下で全体の90%を占めています。発熱は軽度で、口腔粘膜および手のひら、足底や足背に2～5mmの水疱性発疹が出現するのが特徴です。



岡山県地区別 感染症マップ 手足口病 2011年21週

21週 5/23～5/29 20週 5/16～5/22 19週 5/9～5/15 18週 5/2～5/8



手足口病

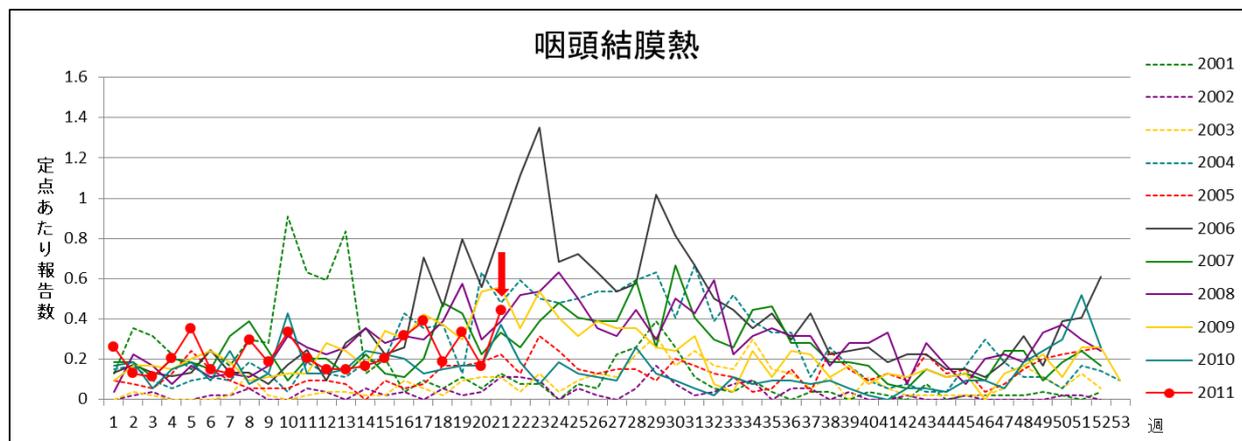
レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
5	2		0 < 5未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます

咽頭結膜熱の定点あたり患者報告数が増え（定点あたり0.17 → 0.44人）、特に岡山市（0.50 → 1.07人）、美作地域（0.00 → 0.83人）で発生が増えました。

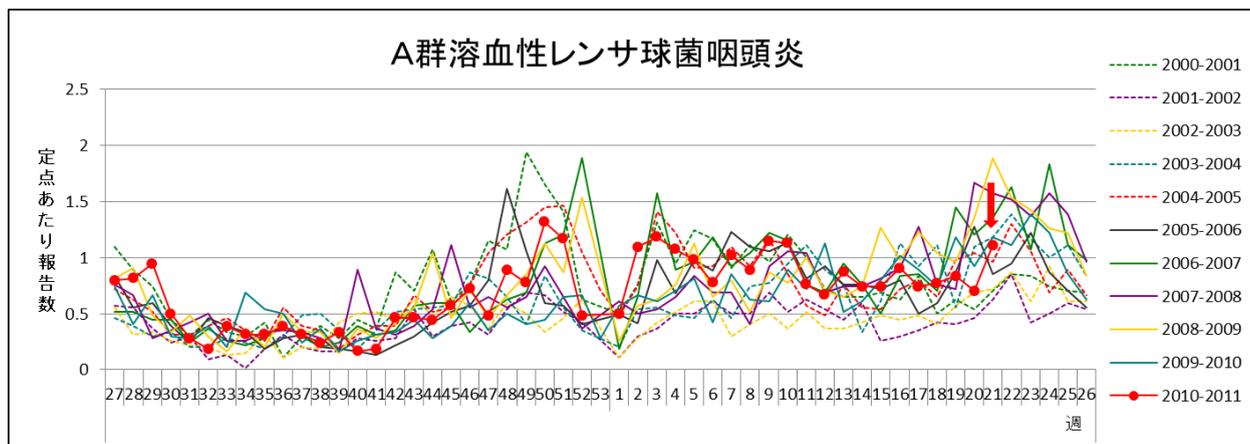
咽頭結膜熱は通常夏期に小児を中心に流行し、プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれます。患者発生は6月頃から徐々に増加し始め、7～8月がピークになります。発熱、咽頭痛、結膜充血が主な症状で、感染経路は飛沫感染、接触感染です。感染力が強く、患者が触れたタオルや手すりなどからも感染します。

今後、夏を迎えてさらに増加が考えられる感染症ですので、注意してください。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生が増えました（定点あたり0.70 → 1.11人）。岡山市（0.93 → 1.64人）、備中地域（0.29 → 1.57人）で患者発生が増えました。学童期の小児の発生が多く、県内でも7歳、10～14歳での発生が多くなりました。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は一般的に冬に患者の増加が見られますが、春から初夏にかけて増加が見られる年もあります。突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛で発症し、しばしば嘔吐をとまいません。軟口蓋の小点状出血や莓舌が見られることもあります。



夏に流行が見られる感染症の発生が増えています。患者との濃厚接触を避け、うがい・手洗いを心がけて感染予防に努めましょう。幼児に発生が多い感染症ですので、お子さんの体調に注意して早めに医療機関を受診しましょう。

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3
数字 は感染症マップにおいて レベル2 を示しています

保健所別報告患者数 2011年 21週 (2011/05/23～2011/05/29)

2011年6月1日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	61	0.73	14	0.64	22	1.38	-	-	14	1.17	1	0.17	5	1.67	5	0.50
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	24	0.44	15	1.07	1	0.09	-	-	3	0.43	-	-	-	-	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	1.11	23	1.64	19	1.73	-	-	11	1.57	-	-	2	1.00	5	0.83
感染性胃腸炎	268	4.96	50	3.57	55	5.00	63	6.30	29	4.14	25	6.25	11	5.50	35	5.83
水痘	59	1.09	15	1.07	21	1.91	5	0.50	3	0.43	2	0.50	1	0.50	12	2.00
手足口病	182	3.37	48	3.43	61	5.55	28	2.80	5	0.71	1	0.25	2	1.00	37	6.17
伝染性紅斑	9	0.17	4	0.29	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	3	0.50
突発性発疹	38	0.70	19	1.36	4	0.36	3	0.30	3	0.43	3	0.75	-	-	6	1.00
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	46	0.85	25	1.79	7	0.64	3	0.30	3	0.43	-	-	-	-	8	1.33
流行性耳下腺炎	65	1.20	19	1.36	31	2.82	10	1.00	1	0.14	1	0.25	-	-	3	0.50
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	1	0.20	2	0.50	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	2	0.40	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 21週 (2011/05/23～2011/05/29)

2011年6月1日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	61	0.73	14	0.64	22	1.38	-	-	14	1.17	1	0.17	5	1.67	5	0.50
咽頭結膜熱	24	0.44	15	1.07	1	0.09	-	-	3	0.43	-	-	-	-	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	1.11	23	1.64	19	1.73	-	-	11	1.57	-	-	2	1.00	5	0.83
感染性胃腸炎	268	4.96	50	3.57	55	5.00	63	6.30	29	4.14	25	6.25	11	5.50	35	5.83
水痘	59	1.09	15	1.07	21	1.91	5	0.50	3	0.43	2	0.50	1	0.50	12	2.00
手足口病	182	3.37	48	3.43	61	5.55	28	2.80	5	0.71	1	0.25	2	1.00	37	6.17
伝染性紅斑	9	0.17	4	0.29	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	3	0.50
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	46	0.85	25	1.79	7	0.64	3	0.30	3	0.43	-	-	-	-	8	1.33
流行性耳下腺炎	65	1.20	19	1.36	31	2.82	10	1.00	1	0.14	1	0.25	-	-	3	0.50
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	1	0.20	2	0.50	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第21週 2011/05/23~2011/05/29)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	61	-	1	3	3	6	8	2	4	3	-	2	9	1	2	12	2	1	1	1	-

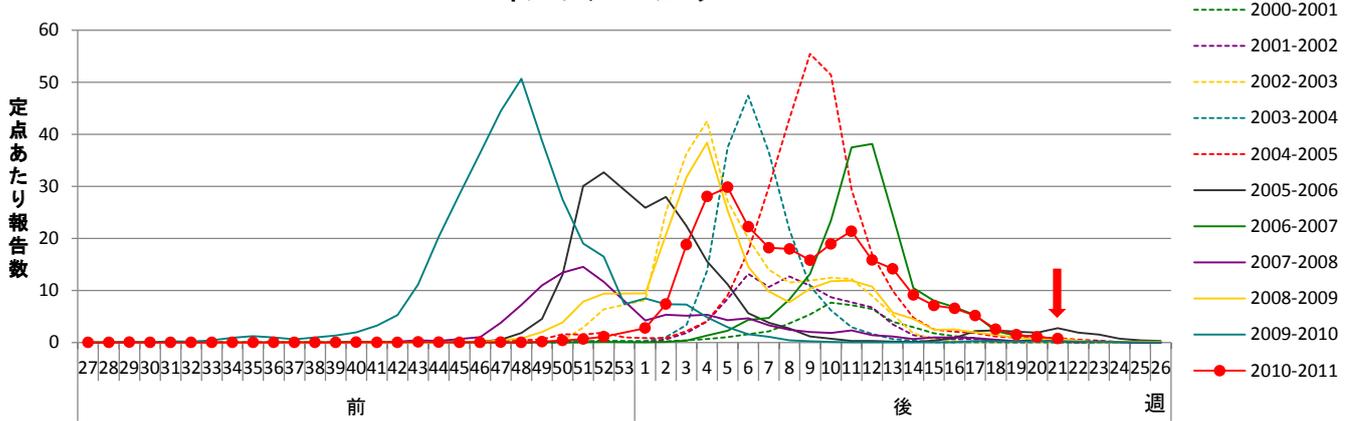
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	24	-	-	2	3	6	6	2	2	2	-	-	-	-	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	-	1	1	4	4	7	7	4	13	2	4	10	-	3
感染性胃腸炎	268	1	22	28	28	25	23	21	23	13	16	8	28	5	27
水痘	59	5	5	10	7	9	10	3	3	4	2	-	1	-	-
手足口病	182	2	15	92	35	21	8	4	3	1	-	-	1	-	-
伝染性紅斑	9	-	-	2	-	1	1	-	1	3	-	-	1	-	-
突発性発疹	38	-	20	17	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	46	1	4	18	13	5	2	-	-	-	1	-	1	-	1
流行性耳下腺炎	65	-	1	2	7	10	8	12	9	10	-	-	5	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-

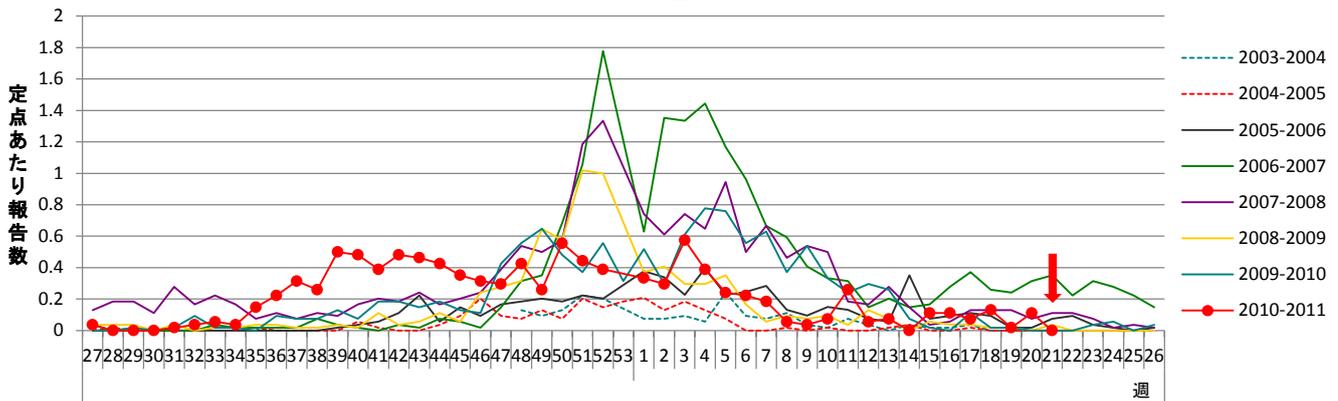
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

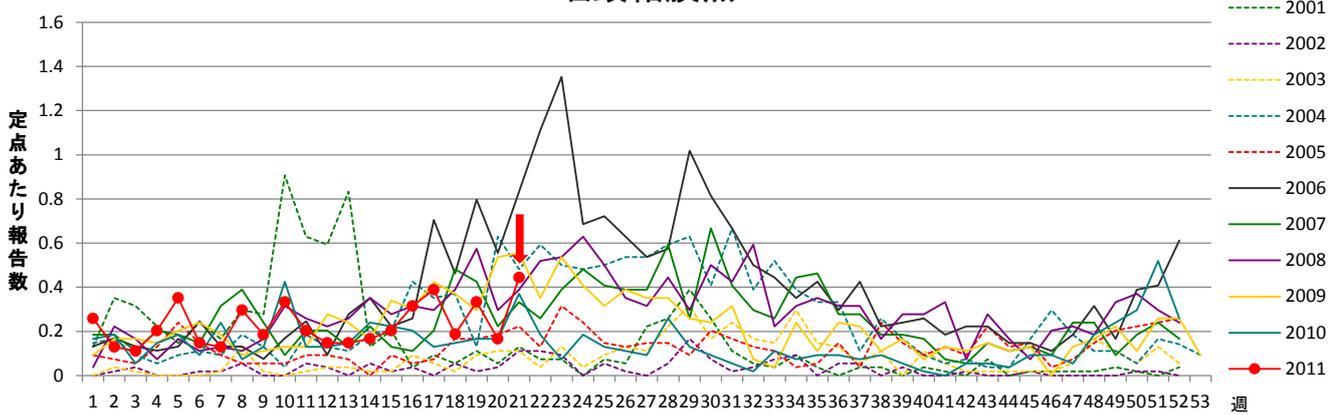
インフルエンザ



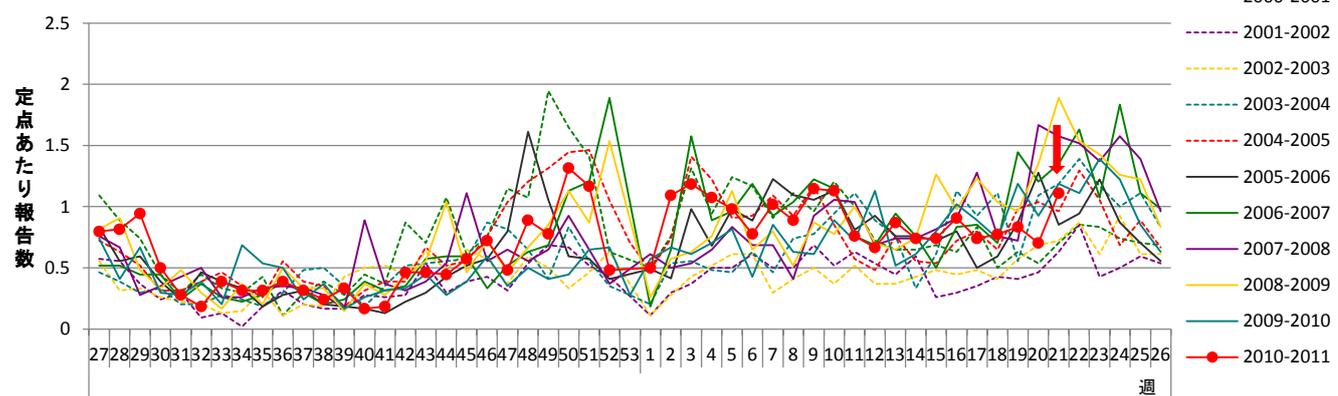
RSウイルス感染症



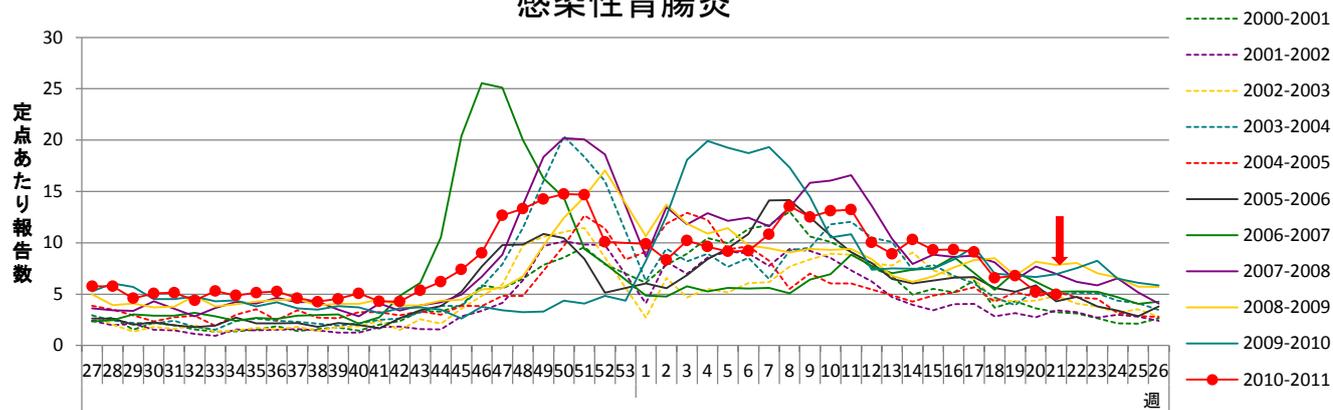
咽頭結膜熱



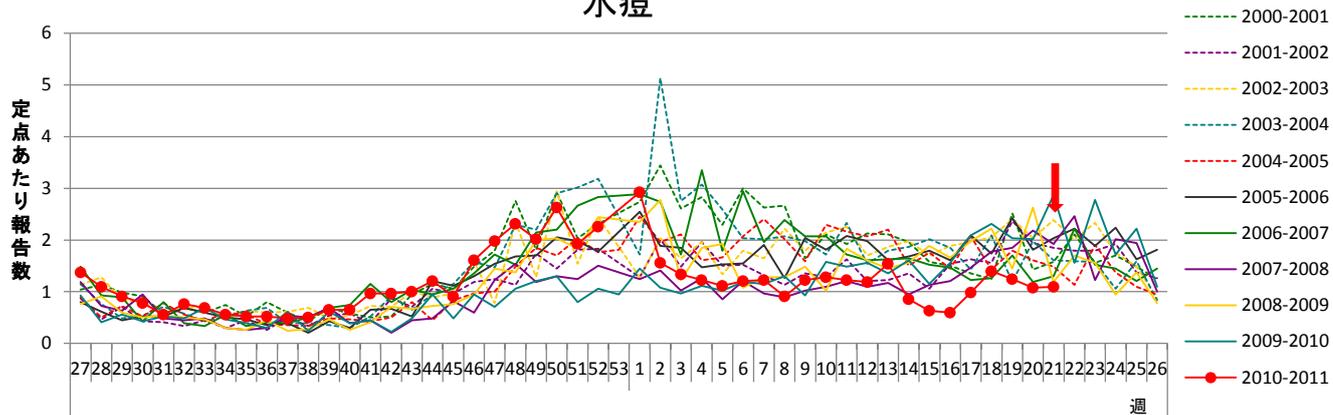
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



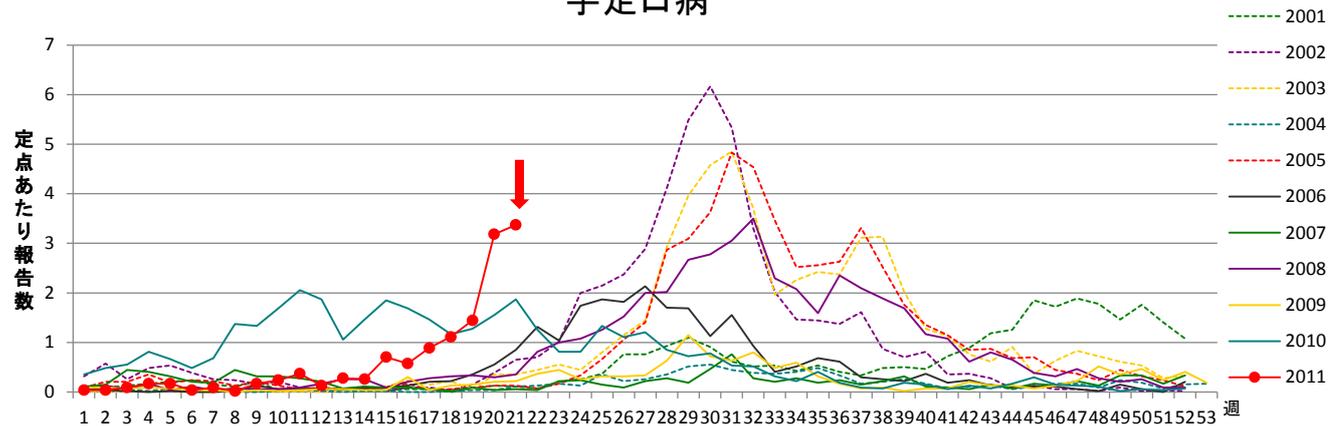
感染性胃腸炎



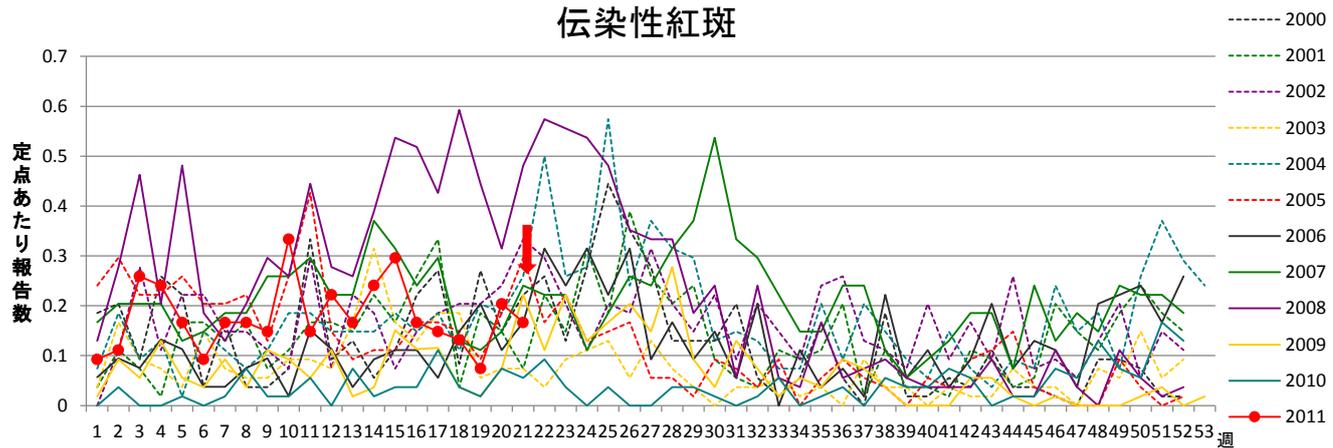
水痘



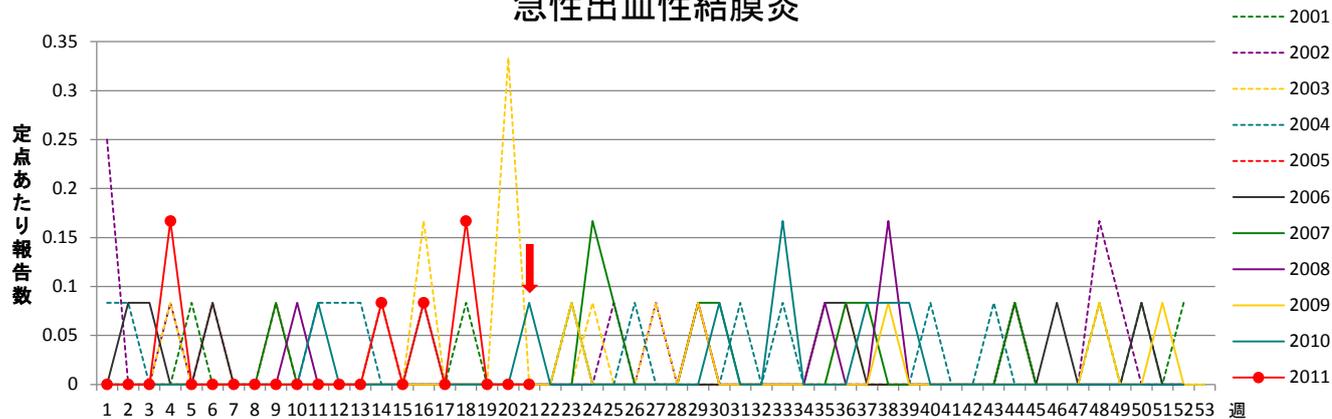
手足口病



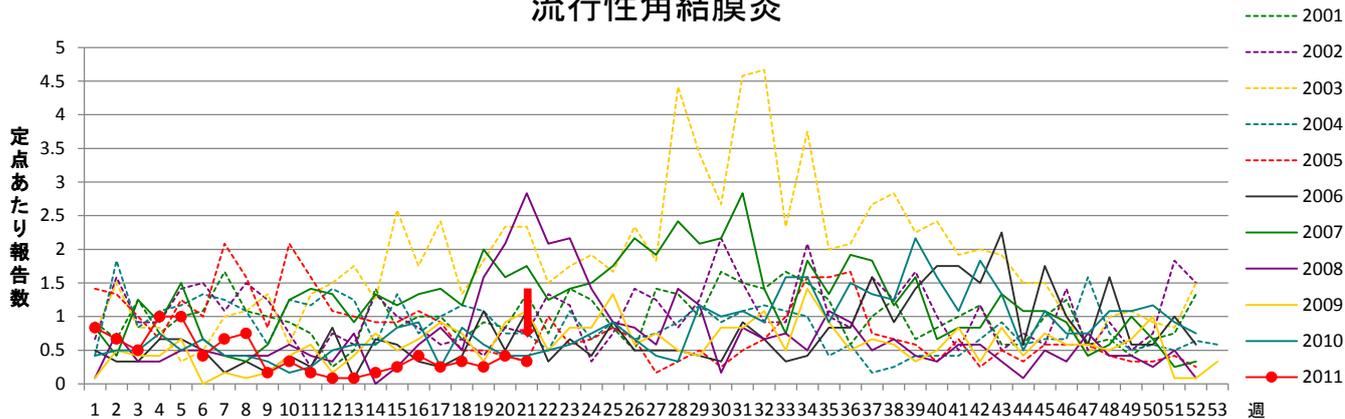
伝染性紅斑



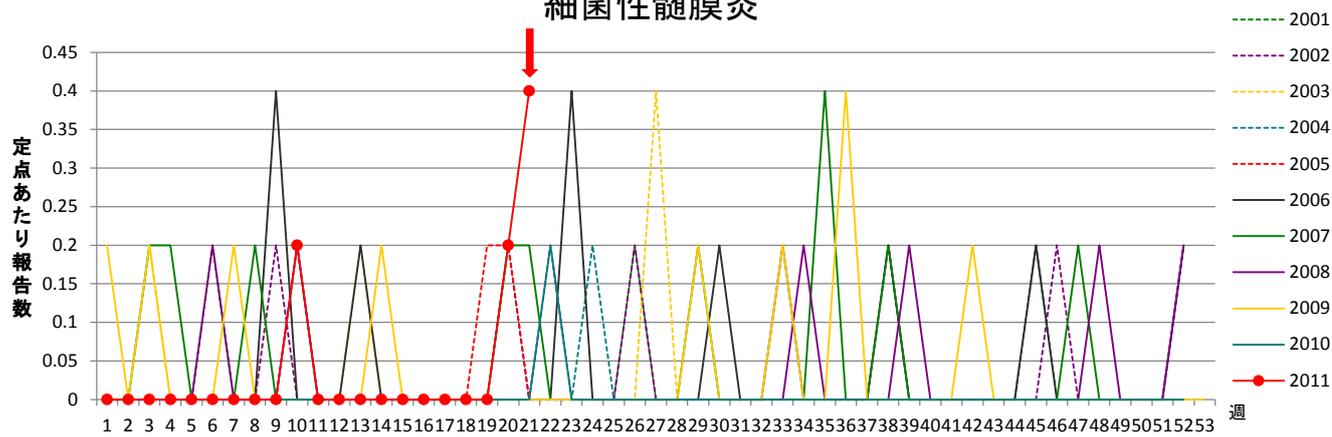
急性出血性結膜炎



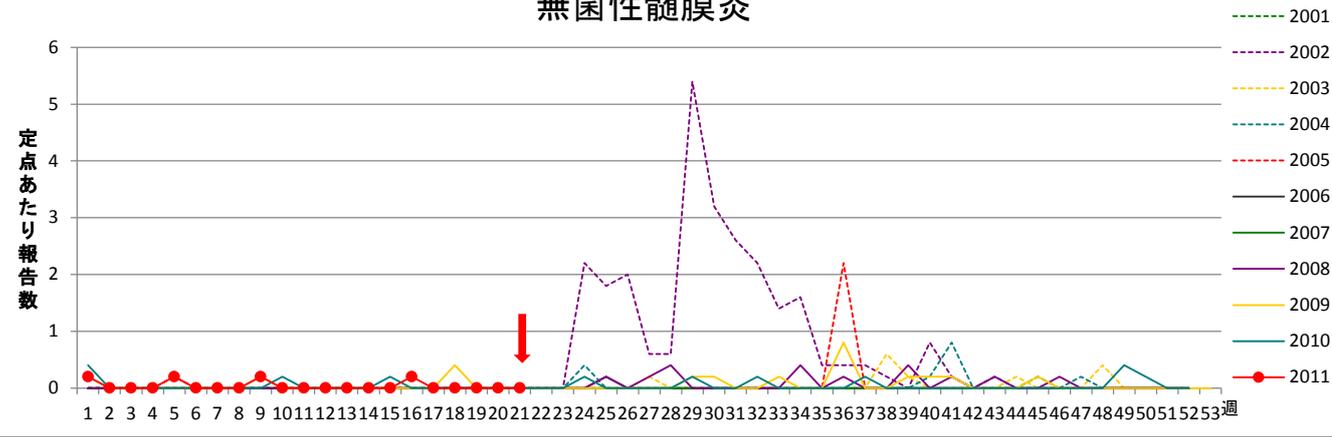
流行性角結膜炎



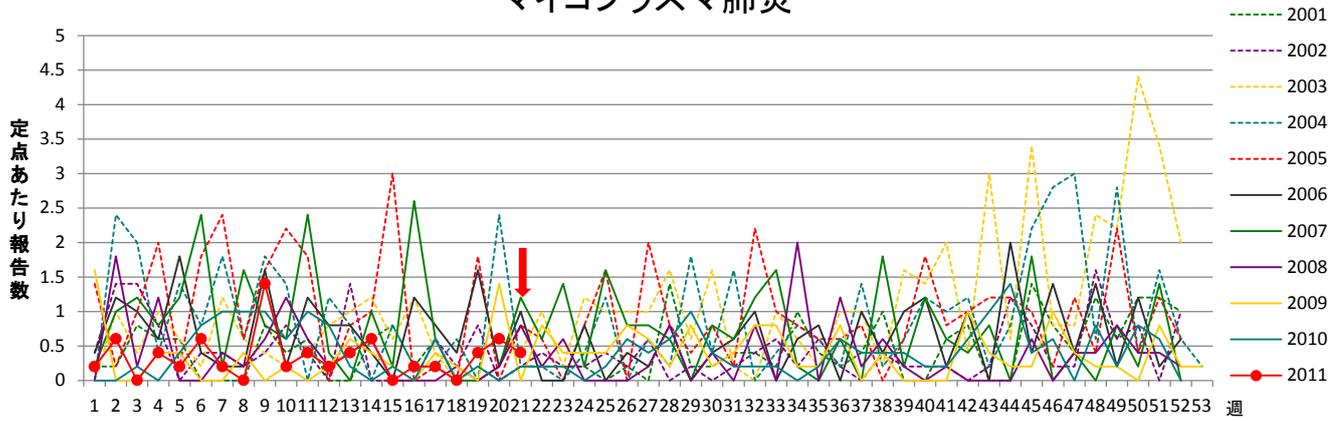
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

